



■施工される方へのお願い

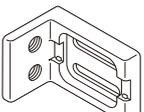
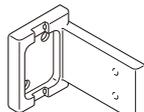
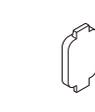
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

- 当製品の落下・転落防止のため、下記事項をお守りください。
- 当製品は、手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がありません。
- 当製品は、木造躯体専用です。ALC・RC等の躯体には使用しないでください。
- 取付け前に必ず、柱・間柱の位置・寸法、外壁厚を建築図面で確認してください。
- 外壁厚が30mm以上の場合には、必ず厚壁用のねじを使用してください。
- 強度・防錆性を保つため必ず指定のブラケット・角ナット・ねじ類を指定の数量使用してください。
- 外壁のガイド穴は、柱まであけないでください。
- 取付けは必ず指定のねじを使用し、外壁だけでなく必ず柱等の躯体にねじ止めしてください。
- 下穴（躯体側）は、φ3mmのドリルを使用してください。
- 下穴（躯体側）には、必ずコーキング材を充てんしてください。コーキング材を充てんしないと漏水の原因になります。

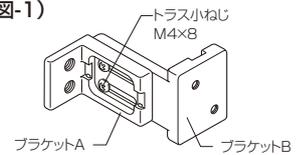
■部品一覧

ブラケットA	ブラケットB	ブラケットカバー	ナベ小ねじM4×10	ナベ小ねじM4×14	トラス小ねじM4×8	ナベタッピンねじ(1種) φ4×50
						
4個入※(6個入り)	4個入※(6個入り)	8個入※(12個入り)	8本入※(12本入り)	8本入※(8本入り)	8本入※(12本入り)	8本入※(12本入り)

※Wサイズが2000mm以上の時は、( )内の数量となります。

※ブラケットAとBは、トラス小ねじで一体にして梱包されています。

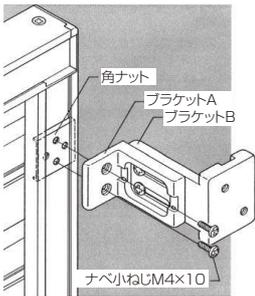
(図-1)



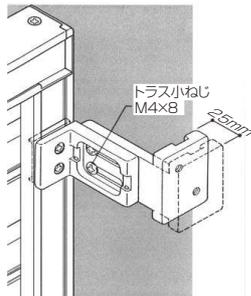
■取付け手順

【標準納まり】

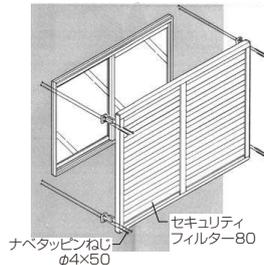
①一体にしたブラケットA・Bを図のようにナベ小ねじM4×10でセキュリティフィルター80の本体の角ナットに固定します。



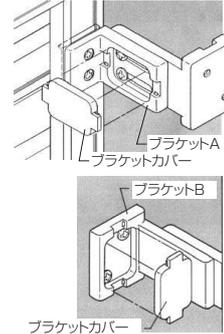
②ブラケットAとBを固定しているトラス小ねじをゆるめて、躯体との出幅を調整し、再び固定します。



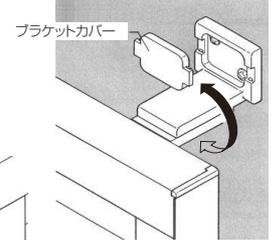
③セキュリティフィルター80の取付け位置を決め、ナベタッピンねじφ4×50で躯体に取り付けます。



④ブラケットA・Bのそれぞれに、ブラケットカバーをはめ込みます。(カバーはA・B共通です。)



※躯体にブラケットが止まりにくい場合は、ブラケットを90°回転させて取り付けてください。

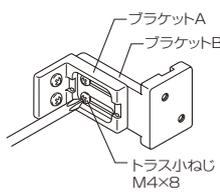


【入隅納まり】

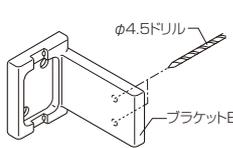
※入隅側にはブラケットBのみを使用してください。

※柱側は、ブラケットA及びBを使用し、標準納まりと同じ要領で取り付けてください。

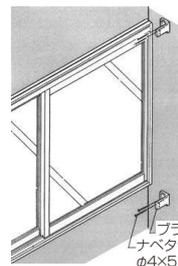
①ブラケットのねじを外してAとBに分離します。



②分離したブラケットBのねじ穴にφ4.5のドリルで貫通穴をあけます。

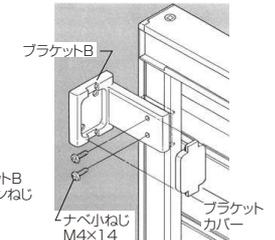


③セキュリティフィルター80を躯体にあて、入隅側の取付け位置を出します。次にブラケットBをナベタッピンねじφ4×50で躯体に固定します。



④セキュリティフィルター80を、入隅側のブラケットBにナベ小ねじM4×14で固定します。

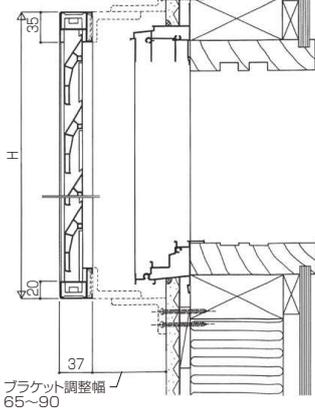
⑤入隅側のブラケットBにブラケットカバーをはめ込みます。



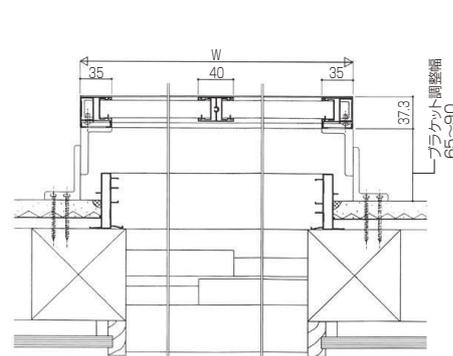
■参考納まり図

■標準納まり

●縦断面図



●横断面図



■入隅納まり

●横断面図

